

認定

総額

歳入

503億9910万円

歳出

488億4155万円

（国保・介護
水道・下水道
会計等含む）

9月定例議会は、8月31日開会、9月25日閉会の26日間で開催され、30件の議案が市長から提案されました。

議案は、平成20年度一般会計決算では、当初予算317億4100万円に基づき、各事業を推進した結果、331億3584万円前年度比4・3%の減少となりました。他に特別会計・企業会計決算、条例改正等が各常任委員会で審議され、全議案とも可決しました。

道路改修は進んでいるのか

道路に関する事業は、道路改修事業費1億1487万円、道路維持補修事業費3943万円、生活道路改良事業費1億3292万円、工業団地通線道路改良事業費6630万円で、道路整備工事が行われました。

問 生活道路改良事業について、要望の件数が非常に多い中で、どのように工事を進めたのか。

答 検討委員会を毎年開きます。その中で危険度・円滑な交通・安全な暮らし・快適な環境・地域の活力に合致する等、様々な要件の中で優先順位

をつけています。

問 道路改良率は前年と比較して、

どのくらい進んでいるのか。

答 道路改良率については、平成19



改良される生活道路

年4月1日が55・2%、20年4月1日が55・4%となっており、0・2%アップとなります。

水道水の給水収益が減少

問 前年度と比べて年間水量が減少しているのは、利用者の節水によるものなのか。

答 有給水量は1262億7000m³となり、前年度比18億8000m³の減。これは各家庭での節水、洗濯機やトイレなどの節水型の普及が要因と考えられます。

問 県水の購入費、井戸の数、石綿管の布設替えの距離は。

答 県水の価格は1m³当たり61円78銭で、地下水は人形・吹上第一・屈巢の3カ所です。

石綿管の布設替工事は7・2kmで残り42・8kmです。

北鴻巣西口、

吹上北口駅前広場が完成

北鴻巣駅西口及び周辺整備事業費として4億1072万円。

駅前広場と駅通り線が4月1日から供用開始となり、北鴻巣駅西口は全面オープンとなる。

平成20年度 決算を

一般会計 歳入 331億3584万円
歳出 320億4290万円



資源ごみの回収作業

吹上駅北口駅前広場整備事業2億9106万円、吹上駅北口街路整備工事費1204万円、吹上駅前通線街路改良事業負担金として2109万円。これで駅前広場整備が完了し、4月1日から供用開始となる。

どうなっている 税の徴収

問 不況が税の徴収率に大いに影響していると思われるが。

答 特別対策室を中心に、文書・電話・臨宅徴収等による対応の結果、

国民健康保険税を除く市税全体の現年度分の徴収は、前年度と同率の98・3%を確保できました。

問 高額滞納者についてはどのように対応し、取り組みをしているか。

答 個人県民税を含み本税500万円以上が32名で未納額は2億9638万円で、本税だけで3062万円ほどの滞納が最高額になっています。1年間で4245万円の滞納整理ができましたが、高額滞納者27名で未納額は約2億5393万円です。

資源ごみ費用の減少はなぜか

問 資源ごみ収集運搬事業費2億8409万円、資源ごみ処分事業費9693万円の歳出になっている。前年度より4351万円のごみ処理処分の費用が減っている。処理処分の委託単価が安くなったためか、あるいは市民の努力によってごみの排出量が減ったことによるものなのか。

答 20年度のごみの量は、前年度に比べて可燃ごみが2・4%減、不燃ごみが6・4%減となり、全体でも3%ほど減っています。これは、市民の皆さんにごみの分別などの意識が徐々に浸透してきた成果だと考えています。

財政健全化判断比率

平成20年度決算に基づく財政健全化判断比率は、早期健全化基準以内であり、財政の適正運営が行われま

指標の名称	平成20年度		平成19年度
	早期健全化比率	比率	比率
実質赤字比率	12.31	-	-
連結実績赤字比率	17.31	-	-
実質公債費比率	25	10.6	11
将来負担比率	350	45.9	39.1

平成19年度指標の実質公債費比率と将来負担比率は全国平均より下回っており、実質赤字比率、連結実績赤字比率も埼玉県内で赤字の市はありません。

実質赤字比率と連結実績赤字比率は赤字額がないため「-」と表示しています。用語の説明は広報「かがやき」平成21年10月号10ページにあります。